



データベースがもっと便利になる!

■中小規模事業所向け
Oracle Database 10g Standard Edition One
(デルオンライン価格 88,486円~)

- 1 **ガンガン使っても大丈夫**
・複数人で利用する際の処理能力が高い
・同時入力した際のデータの整合性なども確保
- 2 **大事なデータを安全に管理**
・複数のデータベースも一元管理
・データの暗号化ができる
・行や列単位でのアクセス制御が可能
- 3 **自社仕様の検索・分析システムが作れる**
・ソフトウェア「HTML DB」を無償添付、ブラウザで使えるアプリケーションが簡単に作成できる
- 4 **ExcelやAccessでの帳票作成や加工もOK!**
・Accessからの移行はもちろん、入力フォームの活用、新たな帳票の作成もOK
・ツール「Key SQL」を使用すればExcelから簡単にデータの検索、更新、加工が可能

※2004年12月末現在 5指名ユーザ版(5NUP)の価格

また、2005年4月から本格施行される個人情報保護法を鑑みると、データベース自体の管理も気になってくる。皆で利用できる便利さを逆手にとって、複製が外部に持ち出されるようなことがあったら大変だ。

こうした運用の手間や不安は極力おさえ「情報を使っていかに利益を上げるか」に神経を集中するのが効率的な経営だ。社内のデータベースをまだパソコンソフトで運用しているなら、そろそろ、実情に見合ったシステムにグレードアップしよう。

そこで注目したいのが日本オラクルのデータベースシステム「Oracle Database 10g Standard Edition One」(スタンダードエディションワン)である。

オラクルという「大企業向け」とイメージするかもしれないが、それは誤解。スタンダードエディションワンは価格も使い勝手も、中小規模事業所に最適化された製品なのだ。

その証拠に、ソフトウェアの設定はわずか20分。現在Accessでデータベースを使っているのなら移行も簡単だ。また、社員側のパソコンには、Accessの入出力画面をそのまま残すことができるので、使い慣れた操作性を変えずに、性能を上げられるというわけなのだ。

「デル+オラクルなら導入も運用も難しくくない」

一方、安定したデータベース活用を続けるには、相応の性能を有したサーバーが欲しい。企業向けサーバーで定評のあるデルでは、中小規模事業所向けのサーバーソフト「SBS 2003」を搭載したサーバー「Standaloneエディションワン」

や大福帳の記録は活用範囲が限定されるが、コンピューターを使えば集計・分析があつという間だ。特に現場の情報がカギとなる営業・販売業務では、データベースなしではもはや競争の土俵に立てないといつても過言ではない。

近年は、パソコンの普及に伴い、個人や部門単位でもデータベースが気軽に構築できるようなった。マイクロソフトの「Access」に代表されるパソコンソフトを用いて、売上管理や顧客データ活用を推進する企業が増大している。

こうしたソフトは親しみやすく、システム構築も容易で便利だが、利用人数や扱う情報量が増えると、課題も生じるようになってくる。

「運用」で困らないから「データをどう使うか」に集中できる!

Access + Oracle グレードアップキャンペーン

・デルのSBS2003搭載サーバーに Oracle Database 10g Standard Edition One をパッケージ!

PowerEdge SC1420 239,669円(税込)~

使い慣れた「Access」の入力画面なども、そのまま使える

使いこなすためのツールや情報も提供

デル+オラクルでこう変わる!

Windows SBS 2003で動きます

Oracle 10g データベース

デルサーバー

同時に多くの社員が使っても大丈夫

うちの会社にピッタリだった!

役立つ情報がでてくるわ

データベースの設定はカンタン

持出しできない

データの持出しはできないんだ

20分どころか2分!

<インフォメーション>
Access + Oracleセミナー開催!
詳細は下記へ
<http://www.oracle.co.jp/events/tk050223/>

お問い合わせ先
オラクルダイレクト
0120-155-096
<http://www.oracle.co.jp/contact/>
デル株式会社
044-556-1494
Access + Oracle情報サイト
http://www.dell.com/jp/access_plus_oracle/

オラクル!?

それって大企業向けじゃないの?

ダメダメ、そういう思い込みはソンのよ...

例えばパソコンソフトで作成したデータベースを利用して「処理速度が遅くなったな」と感じた経験をお持ちの方も多いいのではないだろうか。個人や小規模グループでの利用なら問題ないが、一つのデータを本社と複数の営業所で共有するケースなどでは、事実、処理速度や反応時間が低下することもある。

「もっと使いこなすならデータベースをグレードアップ」

効果のポイントはココ!

データベース

顧客や取引の情報 営業に十分活かせていますか?

ゴルフ場で人気の高いキャディーは、たいてい顧客一人一人のことをよく覚えていたものだ。前回のスコアからバットの癖、家族構成から会社での悩みまで……。詳細な記憶を元にした気の利いた言葉やさりげないサポートで常連プレイヤーの心を引きつける。カリスマキャディーとは、情報収集に意欲的で、その材料を臨機応変に使い顧客本位の行動がとれる人といえるだろう。

この「商売繁盛の基本」を会社で組織的・効率的に行う仕組みをつくる時、記憶庫として機能するのが、データベースシステムである。コンピューターは大量のデータ保存や検索に適したツール。頭の中の記憶